

大阪わかば高校の学校訪問がありました

【令和4年11月16日】

本校は「外国につながる生徒」が多く在籍しており、今年度は「高等学校等における日本語能力評価に関する予備的調査研究事業」(文部科学省)のモデル校2校のうちの1校になっています。このもう一つのモデル校である大阪府立大阪わかば高等学校から、大西俊猛^{としたけ}校長と日本語指導の先生3名が本校を訪問されました。

第3時限は全学年の授業を参観され、第4限は1年4組の「日本語 I」の授業を参観されました。「日本語 I」は、ロシアとウクライナの戦時下で起きている社会事象について学んだことを、演劇で表現してまとめる内容でした。訪問された先生方からは「自分たちの言葉でよく表現されていた。」といったコメントが寄せられました。

なお、今後は東京外国語大学やJICA(国際協力機構)からの訪問も、予定されています。

※大阪府立大阪わかば高等学校(大阪市生野区)^{いくの}：府立勝山高校と府立桃谷高校多部制単位制 I・II部の再編統合により令和2年度に開校した、多部制単位制 I・II部の高等学校。「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜」を実施している大阪府の「桜校」8校の1校。

